

## 平成30年度 第1回幕別町社会教育委員会報告書

1 日 時 平成30年6月22日（金）午後3時～午後4時30分

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

(1) 委員12人（新倉委員、池田委員、新保委員欠席）

(2) 教育委員会

菅野教育長、岡田教育部長、石野生涯学習課長、武田図書館長、鎌田主幹、宮下係長、甲谷係長、羽賀主査

4 会議次第 ※日程(7)委員長挨拶まで教育部長が進行。

(1) 委嘱状交付

⇒教育長から委員へ委嘱状を交付。

（部長が氏名を読み上げ、教育長が委員の正面に移動して交付。）

(2) 教育長挨拶

(3) 社会教育委員紹介

⇒名簿順に自己紹介

(4) 教育委員会職員紹介

⇒教育長以下出席職員の自己紹介

(5) 役員選出

前段、生涯学習課長から社会教育委員の職務等（資料1）について説明。

○和田委員から委員長に岩谷委員、副委員長に鈴木委員との推薦があった。

⇒委員全員承認。（委員長 岩谷史人）（副委員長 鈴木譲二）

(6) 第6次生涯学習中期計画案の策定についての諮問

⇒教育長から委員長へ諮問。

※ 教育長は他の公務のため退席。

(7) 委員長挨拶

⇒岩谷委員長挨拶

(8) 生涯学習中期計画について ※以下、岩谷委員長が議長となり進行。

⇒生涯学習課長から中期計画策定の流れ（議案2～3ページに基づき説明）、スケジュール案（資料2）を説明。

○質疑等なし。

(9) 生涯学習中期計画（案）策定部会構成について

⇒生涯学習課長から部会の概要を説明。

○質疑等なし。

⇒部会構成について、事務局案を提示。（事務局案を全員に配付）

⇒委員全員承認。

(10) 議事

・報告第1号 平成29年度社会教育関係事業の実施状況について

⇒各担当係長から報告（量が多いため一部抜粋して説明）

- 千葉委員→5ページ、小学生国内研修の課題で、研修生の確保とはどういう状況か。
- 事務局 →昨年度、募集人数は中土佐・開成 20 人、上尾 15 人のところ応募があったのがそれぞれ 17 人、5 人であった。特に上尾の方は、定員割れが大きかった。募集方法の検討が必要である。
- 帰山委員→学校ごとの派遣人数割りがあり、友達と一緒にであれば行きたいという子どもはいるが、一人二人での研修となると手をあげない状況にある。
- 井原委員→派遣の際の応募条件に受入時のホームステイがあり、そこが保護者の負担と考えている人が多いと聞いている。
- 中井委員→受入の際、研修施設こまはたを活用するなど対策が必要では。
- 千葉委員→良い事業だと思うので、研修生が増える方策を検討してほしい。
  
- 岩谷委員長→6ページ、講座受講の空白世代とは何処を指しているか。
- 事務局 →講座の受講をされる方は、高齢者や少年団活動をしていない小学生が多く、仕事をしている現役世代の受講が少ない状況にある。
- 岩谷委員長→理由はどう捉えているか。夜間の開催はあるのか。
- 事務局 →夜間開催の講座もあるが、仕事で疲れて時間が取れないという事が一番かと考えている。
- 千葉委員→百年ホール事業でも、昼夜2回開催や子供と親と一緒に参加できる講座を増やして開催している。現役世代の参加をどう増やすかは課題。

- ・報告第2号 平成30年度教育行政執行方針について  
⇒社会教育係長から説明。（別添資料3 教育行政執行方針を後ほどご確認いただきたい。）

○質疑等なし。

- ・報告第3号 平成30年度社会教育関係予算について  
⇒社会教育係長、社会体育係長から説明。

○質疑等なし。

- ・議案第1号 平成30年度社会教育関係事業計画について  
⇒各担当係長から説明（時間の関係から、前年度から大きく変更した事業、新規事業のみの説明とした。）

○原田委員→出前講座について。子ども会の研修会で出前講座を利用し、講師に来てもらっている。幕別町コミュニティカレッジ、しらかば大学等の講座も出前講座で来てもらえるのか。

○事務局 →先日利用いただいた出前講座は、町のまちづくり出前講座制度で、町民の要請に対し、町職員等を派遣しているものである（子ども会に派遣したのは、トレーニング指導員）。コミカレやしらかば大学の講師を各団体等の研修に派遣するものではない。

#### (11) その他

- ・平成30年度社会教育委員会関係研修会開催予定  
→社会教育係から年間の開催予定を説明。研修会等の参加協力依頼。
  
- ・次回会議開催日程  
→7月26日（木）を予定。委員長と協議し、確定後ご案内する。